



HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和5年3月31日発行



▲全国大会に出場した選手たち



卒業式での校長式辞▲

▼富田校舎 2学年沖縄修学旅行の様子



▼本校舎 3学年沖縄修学旅行の様子▼



令和5年

3/31

第66号

- 心に響いた言葉たち 学校長 大橋 芳樹 2ページ
- 卒業生に贈る言葉 3ページ
- 学窓の思い出 4~5ページ
- 進学・就職状況 6~7ページ
- 活躍する部活動 8~11ページ
- 本校舎トピックス 12~13ページ
- 富田キャンパストピックス 13~14ページ
- 白鷗大学だより 15ページ
- PTAだより・新生徒会・他 16ページ



心に響いた言葉たち

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹



卒業の日を迎えた本校舎の生徒たち

日々の生活の中で何気なく出会った言葉に、時として、勇気や元気をもらうことがあります。また、その言葉が、その時ぶち当たっている壁を乗り越えるためのヒントになることがあります。今年も、私の人生の中で出会った素敵な言葉をいくつかプレゼントします。

『実践実践また実践 挑戦挑戦 また挑戦 修練修練また修練』… 満百七歳で大往生した近代日本を代表する彫刻家の一人である平櫛田中の言葉です。写実的な作風で知られ、代表作には、国立劇場のロビーにある『鏡獅子』や『烏有先生』、『五浦釣人』などがあります。晩年になっても制作意欲が大変旺盛で、百歳を超えても、三十年かかっても使い切れないほどの材木を所有していたといわれています。趣味が多岐にわたり、好



卒業する富田校舎3年生

奇心とバイタリテイの塊のような人だったようです。卒業生の皆さんも多少の失敗などにへこたれることなく、『挑戦挑戦また挑戦』の気持ちでいきましょう。

「したい人、一万人。始める人、百人。続ける人、一人」…作家、俳優、実業家として活躍する中谷彰宏の言葉です。初めはみんなが「したい人」なのですが、実際に「始める人」は百人に一人、「続ける人」はさらにその中の百人に一人だということです。確かに、結果を出す人は、あきらめずにやり続けた人です。だから、何かをしたいと思ったなら、始めてみる、始めたなら、続ける、ただそれだけです。ほんのちよつとだけ、勇気を出してみたり、ほんのちよつとだけ、行動してみたりすることが大切なのです。その「ほんの



答辞を読む文3の3板井亜樹さん(前橋みずき中)

ちよつと」があるかないかで結果には大きな違いが出てくるということです。『千里の道も一歩より』なのです。

『挑戦しなければ、夢のままだ』…昨年の東京オリンピックの男子マラソンで日本人トップ記録で6位入賞を果たした大迫傑の言葉です。男子マラソンの日本記録を二度更新するとともに、三三m、五kmの日本記録保持者でもあります。早稲田大学在学中には、箱根駅伝にも出場し、区間賞も獲得しました。「日本流のトレーニングでは世界のトップには追いつけない」との考えから、大学卒業後はアメリカのオレゴン州に本拠地を置く陸上競技チーム「ナイキ・オレゴン・プロジェクト」にアジア人として初めて所属し、プロランナーとして活動しています。東京オリンピック後に、一度現役



を引退しましたが、昨年2月に現役復帰を表明しました。大迫傑は「挑戦は、得るものがあっても、失うものは何もない」とも言っています。卒業生の皆さんも恐れることなくチャレンジを続けてください。さつと何か得るものがあるはずです。

『決して屈するな。決して、決して、決して！』…イギリスの軍人、政治家、作家として活躍したウィンストン・チャーチルが、母校のハーロー校の卒業生の前で行った演説の一節です。原文は、
"Never give in, never give in, never, never, never, never - in nothing, great or small, large or petty - never give in except to convictions of honor and good sense. Never, Never, Never, Never give up." 最後の太字の部分の日本語訳です。

この力強い演説は、卒業生たちのその後の人生に大きな影響を与えたといえます。
卒業生の皆さん、たとえ大変なことがあるうとも屈することなく、力強く人生を歩んでください。

卒業生に贈る言葉

挑戦する「志」



2月末、14年ぶりに日本人宇宙飛行士候補が決まり、米国主導の「アルテミス計画」で月に降り立つ可能性があると話題になりましたが、この「アルテミス計画」に向けては、日本の民間会社が「YAOOKI」という月面探査ロボットの開発中で、私はこのネーミングが気に入っています。「七転び八起き」に由来し、「転んでも立ち上がる機能と何度でも挑戦する志」を表しているのですが、私に気が入っているのは、はじめから「転ぶ」つまり「失敗すること」を想定内とし「何度でも」挑戦するとしているところです。私たちはいつも未知の前に立たされています。自分の将来、1年後、いや明日の事すら確かなものはありません。その不確かさを恐れるあまり、自分には無理と決めつけたり諦めたりしていることはありませんか。挑戦しなければ何も始まり

教頭 須藤 敏哉

ません。挑戦し、成功を目指してあらゆる努力をし、失敗し、そこから学び、また挑戦する。その繰り返し皆さんを成長させ、人生を豊かにするのです。どうか「何度でも挑戦する志」をもって歩んでください。

感謝の言葉 卒業生の皆さんに感謝

教頭 湯澤 昭子



白鷗大学足利高等学校を卒業される皆さんに御祝いの言葉を一言申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

ご卒業に当たり、私から「感謝」ということを話したいと思えます。

皆さんは周りから「今まで育ててくれたお父さんお母さん等の、自分と関わった周りの大人に感謝しなさい」とか「指導してくださった先生方に感謝しなさい」と言われたりしているでしょう。そ

多くの経験から学ぼう

文理進学コース長 青木 夙枝



ご卒業おめでとうございます。皆さんは、コロナ感染症により入学式から様々な制約を受け、誰も経験したことがない高校生活を送ったことになりました。このようなかでも、皆さんは友人と共に切

初心忘れるべからず

総合進学コース長 武藤 幸祝



卒業おめでとうございます。皆さんにとって白鷗大学足利高等学校で過ごした3年間を振り返ると、どのような3年間だったでしょうか。コロナ禍の中、学校行事や部活動の大会が中止や延期となり、辛かったこと、苦しかったこともたくさんあったはずですが、それに耐え、高校卒業までこられたことを誇りに思ってください。高校卒業は3年間で大きく成長した証です。

さて、皆さんはここで終わりで

とりわけ苦労した体験は自分を強くし、身も心も成長させてくれます。相手の立場や気持ちを考えられるようになれば、その後の人生を乗り越えていく力にも結びつきます。失敗を恐れず、多くの経験から学んでください。学んだ経験は、自分の糧となるだけでなく多くの人の助けにもなります。

最後に、健康に留意し、多くの経験と日々の努力を糧に目標を持って豊かな人生を送ってください。

はなく、ここからが始まりです。これから進むそれぞれの進路先でも高校生活のように、たくさんの苦しいこと、辛いことに会いますがあります。そんな皆さんに、この言葉を贈ります。

『初心忘れるべからず』という言葉です。物事を始めたばかりの純粹で熱い気持ちを忘れず物事に取り組もう。また、最初に思っていた一念を忘れてはいけないという意味です。この先、苦しいこと、辛いことに会ったら、今の気持ち「初心」を思い出し、高校3年間の経験を生かして乗り越えてください。更なる成長と活躍を期待しています。

学窓の思い出



特別進学コース
3年1組
佐藤 華奈瑠
(邑楽中)

上智大学 文学部 フランス文学科

休校から始まった高校生活。3年間「コロナ」という言葉がつきまといました。新生活への期待よりも不安の方が大きかったことを今でも覚えています。

コロナ禍での学校生活を通して、これまで当たり前だと思っていた日常の有難さを痛感しました。友人と互いに勉強を教え合ったり、



くだらないことで笑い合ったり。そんなありふれた日々の中で起こる一つひとつの出来事が、私にとってかけがえのない思い出となりました。2年間所属した生徒会の活動では、多くの行事が縮小・中止される中で、できることを模索する日々でした。中でも3年時に行われた富c a n祭では、各クラス一丸となって取り組み、初めて充実した行事を味わうことができ、大きな達成感を得ることができました。

本校で培った経験を糧に、今後も様々なことに挑戦していきます。3年間ありがとうございました。



特別進学コース
3年2組
奥澤 鼓太郎
(足利二中)

北海道大学 総合理学

入学当初から休校、自宅学習となり、私の高校生活は不安が残ったままスタートしました。また、コロナ禍の影響で、行事なども中止などが続き、振り返ってみると、これと言った思い出がないような

高校生活だったかもしれません。しかしながら、限られた行事の中で、2年生の時には、体育祭で総合優勝をすることができ、友人と喜びを分かち合ったことは、今でも鮮明に覚えています。3年時には富c a n祭も実施され、それぞれの行事を十分に堪能することができました。

行事には恵まれなかったものの、土曜日の放課後、電車を待つ間に、友人たちと他愛ない話や将来についての話をしたことは、ささやかながら大切な思い出として、強く心に刻まれています。

これから新たなステージに向かいますが、友人やお世話になった先生方のことは一生忘れません。ありがとうございました。



進学コース
3年2組
内山 美咲
(総和中)

高崎経済大学 地域政策学部

私が本校で過ごした3年間はとても充実したものでした。特に、3年時に実施された富c a n祭は、印象深く記憶に残っています。様々な制限のある中でも、各々ができることを最大限に発揮して準備を進めた経験は、私にたくさん学びを与えてくれました。どの



答辞を読む
進3の4溝止陽南さん(明和中)

行事でも共通して言えることですが、クラスで何かに取り組む際、全員の気持ちが同じ方向を向いた瞬間や、その時感じた団結力の深



進学コース
3年4組
溝上 陽南
(明和中)

群馬県立県民健康科学大学

コロナ禍で過ごした私たちの高校生活は、様々なことが制限され、嬉しい思いをたくさんしました。しかし、そんな中でも毎日充実した日々を送れたのは、最高の仲間に出会えたからです。

私が所属していた合唱部では、その時々に行えることを皆で一緒に考え、工夫して乗り越えてきました。また勉学では、努力が報われず、夢を諦めそうになったこともありましたが、友人同士で励まし合い、一緒に頑張ってきました。

やはり、一生忘れられないと思います。また、コロナによって「しょうがない」と割り切って過ごさなければならぬ状況が訪れるたびに、とても辛かったです。しかし、そんな中でも先生方や友人のおかげで、多くの楽しい思い出ができたと思っています。本校に入学して、様々な価値観や考え方に触れ、温かい人たちに囲まれながら共に成長できたことは、私の誇りです。3年間、本当にありがとうございました。

親身に教えて下さった先生方、些細なことで笑いあった友人たち、どんな時もそっと見守ってくれた両親。多くの人に感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの人に支えられ、大好きな友人たちと過ごした3年間は私の大切な宝物です。これからも努力を惜しまず、目標を叶えるため頑張ります。本当にありがとうございました。





文理進学コース
3年1組
中村 瑛若
(鹿沼西中)

日本大学
文理学部 体育学科

高校生活が始まりました。新型コロナウイルスが日本にも広がりつつある混乱期でした。オンライン授業や分散登校、黙食などなかなか友人と打ち解けられない日々がもどかしかったです。そんな中でも徐々にコロナ禍の生活に慣れ、授業や部活動が楽しいと思えたのもこの経験があったからだと思います。所属する女子バスケットボール部では、チームメイトに助けられ、このチームで全国にいききたいという目標を持つことができ、チームに貢献したいという一心で練習に励みました。2年生でウィンターカップに出場することはできましたが、3年生では全国大会出場は叶わず勝負の厳しさを知りました。この経験は進路



決定にもつながる大きな糧となりました。大学ではバスケットボールにさらに力を注ぐとともに、熱意ある指導をしてくださった先生のような体育教師になるべく、勉学にも一所懸命励みたいと思います。

コロナ禍の高校3年間を乗り越えたからこそ、人の支えに感謝すること、困難に向き合う力を大切にしてこれからも成長していきたいです。



総合進学コース
3年2組
松本 あすか
(結城中)

白鷲大学
教育学部
発達科学科 児童教育専攻

本校で過ごした3年間は、あつという間で、たくさん思い出で溢れるものになりました。

私は、部活動と勉強の両立を図ることを目標に高校生活を送りました。陸上競技部にマネージャーとして所属し、選手のサポートに全力を尽くしました。難しく大変なことが多かった分、選手からたくさん感動や喜びをもらうことができたので、入部して本当に良かったなと思っています。勉強面では、コース上位の成績を取めるという目標を達成するた



めに、授業にしっかりと取り組むことはもちろんのこと、隙間時間を活用したり、わからないところはすぐ復習したりするように心がけていました。その結果、最後まで目標を達成し続けることができました。

入学時から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、思うように過ごせない3年間でした。しかし、そんな中でもたくさんの友人や先生と過ごした何気ない日々、学校行事で得た思い出や発見を大切にして進学先でも精進したいと思っています。3年間本当にありがとうございました。



総合進学コース
3年3組
原田 賢太郎
(東村山六中)

駒澤大学
法学部 政治学科

私は、本校での3年間の高校生生活で部活動と学習の両立の大切さを学ぶことができました。

私は寮生活を送りながら硬式野球部に所属していました。毎日の練習は大変厳しく、辛いものでした。しかし、それを3年間継続できたのは、顧問の先生、寮やクラス、そしてグラウンドで苦楽を共にしたチームメイトに恵まれていたからだと思っています。

学習面では、日々の授業に集中し、常にクラスで上位の成績を維持することができました。その結



文理進学コース
3年2組
宇賀神 向日葵
(東陽中)

栃木県警察本部

私にとって高校生活はとても短く、あつという間に感じた3年間でした。しかし、勉強と部活動を両立する生活はとても充実したのになりました。

勉強面では、試験前だけではなく計画をしっかり立てて余裕を持って学習していました。また、わからないところがあつたらそのままにせず、積極的に周りの人に聞くようにしました。これらの取り組みによって、安定した成績を維持することができました。部活動では陸上競技部に所属し、長距離を種目として日々の辛い練習を乗り越えてきました。3年時

果、部活動と学業の両立が認められたこともあり、希望する大学への進学を決めることができました。3年生ではコロナ禍で実現していなかった社会見学、修学旅行、予餞会などの行事が実施され、充実した時間を過ごすことができました。

今後も、周囲の人達への感謝の気持ち忘れず、たくましく大学生活に力を注ぎたいと思います。

は5人という少ないメンバーでしたが、互いに競い合い笑い合える最強で最高のチームを作ることができました。また、5人のメンバーで関東駅伝大会を走れたことも、とても良い経験になりました。私はこの3年間で、たくさんの方々に支えられてレベルアップすることができました。これからは、一人の警察官として自覚と責任をもって職務を全うしていきたいと思っています。3年間本当にありがとうございました。



卒業証書を授与される
総3の2松本あすかさん(結城中)

東京福祉大学	東京農業大学	東京都市大学	東京電機大学	東京造形大学	東京工科大学	東京経済大学	東京家政大学	東海大学	帝京平成大学	帝京科学大学	帝京大学	津田塾大学	拓殖大学	大東文化大学	大正大学	創価大学	聖心女子大学	白百合女子大学	昭和女子大学	順天堂大学	実践女子大学	駒沢女子大学	国士舘大学	國學院大学	工学院大学	杏林大学	北里大学	学習院女子大学	大妻女子大学	桜美林大学	亜細亜大学	了徳寺大学	中央学院大学	千葉工業大学	清和大学	聖徳大学	秀明大学	神田外語大学
3名	2名	1名	4名	1名	10名	1名	2名	7名	1名	1名	8名	2名	1名	10名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	1名	3名	1名	4名	5名	1名	1名	1名	1名	7名	1名	2名	2名	2名	1名	

〔専門学校合格者〕

獨協医科大学附属看護専門学校	3名
関東職業能力開発専門学校	1名
マロニエ医療福祉専門学校	4名
太田医療技術専門学校	8名
東群馬看護専門学校	1名
埼玉医療福祉専門学校	2名
他専門学校等	42名
合格	

〔短期大学合格者〕

佐野日本大学短期大学	4名
作新学院大学女子短期大学部	1名
群馬医療福祉大学短期大学部	2名
高崎商科大学短期大学部	1名
城西短期大学	1名
女子美術大学短期大学部	1名
共立女子短期大学	1名

〔短期大学合格者〕

東洋学園大学	1名
東邦大学	3名
日本女子大学	1名
日本体育大学	4名
文化学園大学	1名
文京学院大学	1名
武蔵野大学	1名
立正大学	3名
神奈川大学	1名
神奈川工科大学	4名
関東学院大学	1名
松蔭大学	1名
鶴見大学	1名
中京大学	1名
京都芸術大学	2名
環太平洋大学	1名



令和4年度の就職先

栃木県内	栃木県外
(株)足利カントリークラブ	王子製鉄(株)群馬工場
いすゞロジステックス(株)	(株)カクヤス
北関東総合警備保障(株)	ニプロファーマ(株)埼玉工場
(株)神戸製鋼所真岡製造所	公務員
佐野農業協同組合	陸上自衛隊
(株)サムライド	海上自衛隊
(株)大協精工	航空自衛隊
東京オート(株)	足利市消防本部
日本オイルターミナル(株)	栃木県警察本部
和楽(株)	

就職状況
若い人材を求めろ

全国での高校生への有効求人倍率が毎年伸びている中、本校への求人数も、昨年に引き続き800社近くの企業から求人をいただきました。

今年もコロナ感染症の影響を受ける中でしたが、従来通り9月から始まった就職試験の内定率は約85%でした。その後は随時試験をしていたいただき、11月末には全員の内定を得ることができました。公務員には5名の内定をいただきました。

在校生においては、現在の高校生就職状況を把握し、「ここで働きたい、努力していきます」という意欲を持った姿勢がまず肝心です。入社試験で課せられる学力の向上に努めることはもちろんのこと、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生活全般を見つめ直すことが求められています。

活躍する部活動

世界大会

ボクシング部

世界ユース選手権第3位!

11月にスペインのアリカンテで開かれたIBA（国際ボクシング協会）主催の世界ユース選手権に女子52kg級の日本代表として総2の3鈴木美結さん（宮代百間中）が出場しました。

1回戦はシードで2回戦からの競技となりました。2回戦はルーマニアの選手にワンツーが冴えて4-1のポイントで勝利しました。3回戦はウクライナの選手で相手からの攻撃を受けずにポイントを重ね、今大会で一番良い内容となり5対0で完勝でした。準決勝は自分よりも身長が高くリーチのあるイングランドの選手に距離感を上手くつかむことができずに相手のペースになってしまい、0-5でのポイント負けとなりました。



判定で勝利し喜ぶ鈴木さん

初めての国際大会でしたが、緊張で動きが悪くなることなく自らが持っている力を十分に発揮し世界第3位に入賞することができました。

鈴木さんは今回出場した日本女子勢で唯一のメダル獲得となりました。



表彰式の様子(右端が鈴木さん)

した。これからは日本を背負って立つ大選手になるためにさらに頑張りしますので、応援よろしくお願ひします。

関東大会

ボクシング部

紀さん・早川さん、悔しい敗戦!

1月19〜22日、日環アリーナ栃木体育館分館で行われた令和4年度第11回関東高等学校ボクシング

選抜大会並びに令和4年度第9回関東高等学校女子ボクシング選抜大会に、本校からはウエルター級で文1の1紀堅志朗さん（佐野南中）、女子ピン級で総2の4早川瑠愛さん（山辺中）の2名が出場しました。



関東選抜大会に出場した早川さん(左)と紀さん

結果は、2人とも準決勝で敗れてしまい、全国高等学校選抜大会への出場権を獲得することができませんでした。この悔しさをバネに、次の勝利を目指して頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

※総2の3鈴木美結さん（宮代百間中）は、日本ボクシング連盟の推薦により、女子フライ級で、全国高等学校選抜大会への出場が決まっています。

陸上競技部

短距離

関東選抜新人陸上競技大会

令和4年10月22・23日、神奈川県相模原ギオンスタジアムにて関東高校選抜新人陸上競技大会が行われました。

本校陸上競技部からは20名の選手が出場しました。結果は、女子100mにおいて総2の4二宮音彩さん（栃木西中）が自己新記録をマークし第6位に入賞、女子やり投げにおいて総1の5谷飛香里さん（佐野西中）が1年生ながらインターハイ出場選手と競る投てきを披露し、自己新記録で第2位に入賞しました。レベルの高い関東地区でインターハイ出場選手がいます中、良い経験をすることができました。今回の経験を糧にこれ



関東大会に出場した選手たち

からも頑張りたいと思います。応援ありがとうございます。

長距離

関東高校駅伝男女出場

11月19日、茨城県ひたちなか市総合運動公園陸上競技場周回コースにおいて、関東高校駅伝競走大会が行われ、今年度は4年ぶりにロードで櫛リレーをしながら開催されました。



男子駅伝チーム

仲間への想いを櫛に込めて、各区间で与えられた役割を果たし、全員駅伝で戦った結果、次につながるレースができました。応援ありがとうございました。



女子駅伝チーム

出場メンバー

- 男子チーム**
- 1区 総2の2 石川 拓揮さん（藤岡一中）
 - 2区 文2の1 荻野 桂輔さん（三和中）
 - 3区 総1の4 石川 湧史さん（太平南中）
 - 4区 総1の1 市村 蓮さん（岡々田中）
 - 5区 総1の5 篠田 将智さん（鹿沼北中）
 - 6区 文1の3 藤井 優人さん（太平南中）
 - 7区 総3の4 大瀧 涼さん（今市市）
- 女子チーム**
- 1区 文3の3 澤井 望乃さん（佐野北中）
 - 2区 総3の1 吉田 芹梨さん（三島中）
 - 3区 総2の3 廣瀬 莉緒さん（田沼東中）
 - 4区 文3の2 宇賀神 向日葵さん（東陽中）
 - 5区 文3の1 小野 心愛さん（佐野南中）

女子ソフトテニス部

関東大会3連覇達成

1月13・14日、東京体育館で関東高校選抜ソフトテニス大会が行われました。

チーム一丸となって勝ち進んだ本校チームは大会3連覇をかけた決勝戦に臨みました。

2面展開で行われた決勝戦は文大杉並高校（東京都）との対戦でした。1番に出場した総2の1日笠愛美さん（壬生中）・富山鈴香さん（杉戸広島中）ペアは相手の大将ペアにG4-2で勝ちました。2番に出場した総2の5小林愛未さん（深谷花園中）・総2の1柳沼里彩さん（西郷一中）ペアはリードされた状況から粘り強く戦い追い上げましたが、その間に3番で出場した総2の5梶原理央さん（今市中）・文2の3渡邊知奈さん（今市中）ペアがG4-0で勝利。2対0とし、見事関東選



サーブを打つ梶原さん（ペアは渡邊さん）

抜大会3連覇を達成することができました。

女子バスケットボール部

新人関東大会1回戦敗退

女子バスケットボール部は2月10～12日に神奈川県小田原市で行われた関東高等学校バスケットボール新人大会に出場しました。

1回戦の相手は、茨城県代表の明秀学園日立高校でした。試合前半は、相手の激しいオールコートプレスに苦戦しながらも、一進一退の攻防が続き、10点差をつけられて前半終了。後半は文1の3星野琉奈さん（北押原中）のジャンプシュートや、文2の3藤本七海さん（あずま中）のインターセプトからの速攻などで応戦しますが、高さのミスマッチをつかれ、リバウンドやゴール下のシュートで点差を広げられ、45-69で試合終了。悔しい敗戦となりました。



関東大会に出場した女子バスケットボール部

この敗戦を次に生かして今後も全国ベスト8を目標に日々精進していきます。応援ありがとうございます。

バトントワリング部

金賞受賞 全国大会出場権獲得

バトントワリング部は、10月22日、千葉ポートアリーナで開催された第57回バトントワリング関東大会に出場し、昨年に続き「金賞」を受賞しました。昨年は金賞を受賞するも、全国大会出場には一步届かず悔しい思いをしましたが、今年は12位という成績で、創部以来目標にしていた全国大会への出場権を得ることができました。演技タイトルは「明日へ」：「様々な困難を乗り越え、明日へ向かう気持ち」を見ている人たちに伝えられるようにと演技しました。

女子サッカー部

4年連続5回目の出場

10月22日から茨城県の鹿島ハイッで秋季関東大会が行われ、4年連続5回目の出場を果たしました。選手全員が昨年のベスト4を超え



試合中の様子

た。見てくださった方たちから、「感動して涙が出た」と言っていただけ、嬉しかったです。皆さんから掛けていただいた言葉を今後の糧にし、頑張ります。



関東大会に出場した選手たち

られるようにと意気込んで、試合に臨みました。初戦は、東京都代表の文京学院大学女子高校と戦いました。相手は個人の能力だけでなく、組織力も高いチームで、本校の選手たちは幾度となく攻め込みましたが、一人ひとりの粘り強い守備を崩すことができませんでした。守備においても、わずかな隙を突かれ5失点し、敗退しました。

今回の悔しい思いを忘れずに日々の練習に取り組み、新しい女子サッカー部の「白鷗スタイル」を確立していこうと思います。多くの方々からご声援いただき、ありがとうございます。

囲碁・将棋部

関東大会第3位入賞

1月7日、埼玉県立滑川総合高等学校において、第38回関東地区高等学校囲碁選手権大会が実施され、本校からは9路盤女子個人戦に進2の1丸山榛菜さん（足利西中）が出場しました。各都県代表16名が総当たり戦で戦い、丸山さんは第3位入賞を果たしました。

通常の基盤を19路盤といい、9路盤はそれよりも小さな基盤を使用します。1試合20分もかからず勝敗がつくため、一つのミスが命取りになります。

全国大会の出場枠は2枠だったため、丸山さんは一歩おぼはず出場が叶いませんでした。しかし今大会での入賞経験が自信となり、技術向上と来年度の全国大会を目指したいと意欲を示しています。



第3位入賞を果たした丸山さん

全国大会

ボクシング部
全国選抜大会2連覇!

3月20・24日、鹿児島県阿久根市総合体育館で行われた令和4年度第34回全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ大会に、総2の3鈴木美結さん(宮代百間中)が女子フライ級で出場しました。



全国選抜大会で2連覇を果たした鈴木さん

結果は、昨年度の同大会に続き優勝。見事2連覇を達成し、さらに女子優秀選手賞も受賞しました。今大会は、今までで一番プレッシャーがかかった大会でした。全国大会2冠、世界ユース選手権第3位の実績があり、国内では絶対に負けられないという重圧の中、「最高でも優勝、最低でも優勝」という目標で臨みました。特に決勝戦はプレッシャーに押しつぶされそうになりましたが、3ラウンド戦い抜き、勝利を掴むことができました。

来年度は高校ボクシング最後の年になります。このまま勝ち続け

られるように、一層頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

ソフトテニス部
全国選抜大会第3位!

3月29・30日、愛知県名古屋市の日本ガイシホールで全国選抜大会が行われました。

本校チームは明豊高校(大分県)と三重高校(三重県)に勝利し準々決勝戦へ進出しました。

準々決勝戦の山陽学園高校(岡山県)戦は総2の1日笠愛美さん(壬生中)・総1の3富山鈴香さん(杉戸広島中)ペアが相手の大将ペアをG4-3で下すと、3番の総2の5梶原理央さん(今市中)・文2の3渡邊知奈さん(今市中)ペアも安定した試合運びでG4-1で下し、2対0で勝利しました(2番は途中打ち切り)。準決勝戦は敗退しましたが、全国選抜大会初となる第3位入賞を果たしました。



全国選抜第3位のソフトテニス部

初戦から厳しい戦いが続きましたが、要所を締めて勝ち上がる事ができました。応援ありがとうございました。

柔道部

中田さん準優勝！団体戦第5位!

3月20・21日に東京都の日本武道館で開催された全国高等学校柔道選手権大会に出場しました。

20日の個人戦では、81kg級に総1の5中田涼太さん(足利一中)が出場しました。自身初の全国大会でしたが、信条である攻めの柔道を武器に決勝戦まで進出し、見事準優勝という結果に輝きました。



81kg級で準優勝した中田さん

続く21日の団体戦では初戦の阿波(徳島県)に4-0、2回戦の四日市中央工(三重県)に3-1でそれぞれ勝利しました。3回戦の東北(宮城県)戦では2-2で代表戦までもつれる熱戦となりました。日本一を目標に、夏に向けてまた精進したいと思います。

陸上競技部

U18陸上競技会

10月21・23日、愛媛県松山市県

陸上競技場において、U18陸上競技会がおこなわれました。この大会は全国ランキング上位の選手のみ出場できる年齢別の全国大会です。本校からはU18男子3000mハードルに総2の3渡辺伸吾さん(佐野城中中)、U18女子3000mに文3の4福田菜々子さん(黒磯北中)が出場しました。

2人とも予選を通過することができ、レベルの高い試合の中で、経験を積むことができました。応援ありがとうございました。



中央が福田さん

◆日本室内陸上競技大阪大会

2月4・5日、大阪府大阪市の大坂城ホールにて、日本室内陸上競技大阪大会が開催され、文3の1中里百葉さん(田沼東中)がU20女子60mハードルに出場しました。中里さんは予選を危なげなく通過し、決勝では接戦



第7位入賞の中里さん(左)

のなか、第7位という成績を収めることができました。

今回、初めて全国の決勝という

舞台を経験することができた中里さんですが、大学でもこの経験を生かして頑張ってくれると思います。応援ありがとうございました。

男子ソフトボール部

全国大会2勝目!

3月25・28日、長崎県の大村市、菅野球場・黒丸総合運動場にて、第41回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会が行われました。

初戦の相手は山形県代表の県立南陽高等学校でした。試合は進1の4前田一成さん(足利北中)、進1の4荒井廉貴さん(白鷲足利中)、進1の3舟橋嘉人さん(豊田中)の二塁打や先発の進2の5梶田龍之介さん(太田城西中)の好投もあり、初回から終始リードする展開で結果は13-8の快勝でした。2回戦は全国大会の優勝常連校である地元長崎県の大村工業高等学校との対戦でしたが、相手の強力打線に捕まり0-29五回コールド負けを喫しました。



士気を高める選手たち

敗戦とはなりましたが、日本一のチームと戦えたことは良い経験となりました。今後とも応援よろしくお願ひします。



軽音楽部

初の「オーディエンス賞」受賞

12月18日に行われた全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2022冬の陣決勝大会において、2年生のバンドがオーディエンス賞を受賞することができました。

オーディエンス賞とは、大会ホームページの投票で最も票数を獲得したバンドが対象となる賞です。本校でもたくさんの方が応援してください、投票していただきました。ありがとうございます。今後も、演奏できることに感謝し、練習に励んでいきます。

- 【出場メンバー】**
- ボーカル 大島 日菜多さん(大平中)
 - 総2の5
 - ギター 高松 由衣さん(足利西中)
 - 総2の2
 - 田村 みほさん(藤岡一中)
 - 総2の3
 - ベース 齋藤 来姫さん(国分寺中)
 - 文2の2
 - ドラム 山保 蓮さん(三和東中)
 - 文2の3

バトントワリング部

全国大会出場に感謝

9月9日、武蔵野の森総合スポーツプラザで開催された2022 Japan Cupに出場しました。

今年度初の広く大きなフロアでの演技に緊張しましたが、「明日へ」というテーマに自分たちの気持ちに乗せて演技することができ、13位という成績を収めることができました。

きました。

また、10月22日には、幕張メッセで開催されたバトントワリング全国大会に県大会・関東大会を経て出場することができ、創部以来の目標を叶えることができました。3名という最少人数での出場となり、成績を残すことはできませんでしたでしたが、沢山の人たちの前で精一杯演技することができたので、悔いはありません。先輩方もたくさん応援に来てくださいました。たくさんの方の先生方のおかげで全国のフロアに立たせていただけたことを感謝します。



全国大会に出場した選手たち

- 【出場メンバー】**
- 総3の2 下境 来弥さん(小山城南中)
 - 総2の1 宇野木 琉那さん(北押原中)
 - 文1の3 石井 沙彩さん(足利二中)

科学部

日本学生科学賞入選と「科学の芽」賞受賞

進2の4黒杭功祐さん(結城南中)が「アリジゴクの繭作りの要因」というタイトルで、全国大会である日本学生科学賞中央審査に

研究成果を発表し、科学部では初となる入選を果たしました。



科学賞で入選した黒杭さん

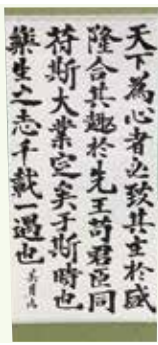
黒杭さんは6年前からアリジゴクの生態を研究しており、今年度は脱皮齢や蛹化する体サイズの特徴などを行いました。主体的・継続的に研究を進めている点や、緻密な観察を行っている点が評価され、受賞に至りました。

黒杭さんの成果は筑波大学主催の「科学の芽」賞にも発表され、こちらでは高校の部で1位に相当する科学の芽賞を受賞しました。今後の活躍にも期待したいです。

書道部

1万点以上の応募作品の中から入選!

第31回国際高校生選抜書展(書の甲子園)の審査が行われ、国内の応募作品1万499点のうち、特別賞200点、入選1800点が出選され、奈良時代に光明皇后



高橋さんの臨書した「楽毅論」

が書いたとされる「楽毅論」を臨書した、進2の4高橋美月さん(行田太田中)が、入選に選ばれました。

高橋さんは「試行錯誤を重ねて

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」

10月1〜11日、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」が開催されました。県内各地で熱戦が繰り広げられ、本校の生徒も栃木県の代表として出場しました。出場競技及び出場生徒は以下の通りです。

〈ソフトボール 少年女子 第3位〉

- 総2の2 室井 瑛美さん(桑中)
- 総2の2 山田 花菜さん(西那須野中)

〈ソフトボール 少年男子出場〉

- 進3の1 木村 颯汰さん(白鷺足利中)
- 進3の1 梁島 晴登さん(壬生中)
- 進3の2 金田 大典さん(佐野城東中)
- 進3の3 岩崎 恒希さん(太田城東中)
- 進3の4 佐藤 想拓さん(佐野西中)
- 進2の1 會田 洋平さん(太田城西中)
- 進2の5 袴田 龍之介さん(太田城西中)
- 進1の3 舟橋 嘉人さん(豊田中)

〈ソフトテニス 少年女子 第8位〉

- 総3の3 菊次 萌花さん(下館南中)
- 総3の3 橋本 和香菜さん(杉戸広島中)
- 総2の1 日笠 愛美さん(壬生中)
- 総2の5 梶原 理央さん(今市中)

〈水泳 少年男子〉

- 総2の2 尾崎 元希さん(足利北中)
- 200m 背泳ぎ
- 4×100m 混合リレー 第8位
- 総2の5 福田 奈央さん(晃陽中)
- 4×200m 混合リレー 第8位

〈水泳 少年女子〉

- 文2の1 武藤 和香奈さん(足利西中)
- 4×100m 混合リレー 出場

作品を完成させましたが、今後は如何に特徴を表現するかを課題に書き込んで、上位入賞を目指したい」と話してくれました。

今後の活躍が期待されます。

〈柔道 少年男子〉

- 文2の2 小嶋 里菜さん(協和中)
- 100kg 自由形
- 4×100m 混合リレー 出場

〈ボート 少年女子出場〉

- 進2の4 須永 栞名さん(山辺中)

〈陸上競技 少年女子〉

- 総3の5 齋五澤 凌生さん(足利一中)
- 中堅90kg級
- 総3の4 長須 祐太さん(結城中)
- 次鋒73kg級
- 文3の1 中里 百葉さん(田沼東中)
- 少年女子A100mハードル

〈バスケットボール 少年女子出場〉

- 総1の2 榎本 千莉さん(栃木西中)
- 成年少年共通女子4×100mリレー

- 文1の3 星野 琉奈さん(北押原中)
- 総1の2 河津 春香さん(一条中)



いちご一会とちぎ国体に出場した選手たち

本校舎トピックス

体育祭

10月19日、天候に恵まれた中、足利市陸上競技場（足利ガスグラウンド）において2年ぶりの体育祭が行われました。コロナ感染症防止対策に十分努めながらの開催となりました。

最初の競技は借り物競走でした。運よくすぐ近くにいた人を引き連れてゴールした生徒がいる一方、「担任の先生」のカードを引いたのに近くに担任がいなかったため、ゴールまでに時間を要した生徒がいるなど様々なレースがありました。2つ目の競技はやまかんレー



体育祭の様子

スでした。やまかんレースとは、校長先生が挙げた旗の色によってゴールまでのルートが変わる競技です。校長先生が旗を挙げるまで

スタート地点にいる生徒がいる一方、拳がる旗の色を予測して走り出す生徒もいました。いずれの競



体育祭の様子

技も運によって順位が左右されていました。また、大縄跳びの回数を競う「みんなでジャンプ」では、練習の成果を十分に発揮しているクラスや、すぐ引かかってしまいなかなか回数が増えないクラスなどがあり、大変盛り上がりました。ムカデリレーは転んでしまうチームも多くありました。やはりかけ声で息を合せているクラスが速かったように思います。クラス対抗リレーでは、足自慢の男女精鋭がクラスの名誉をかけ必死に力走していました。

大綱引き、友情の絆などクラス

で競い合う競技は、クラスの団結した姿が感じられました。見ている側も競技者の必死さに、手に汗握る瞬間が何回もありました。教職員チームが参加した種目もありましたが、高校生の若いパワーに圧倒されてしまいました。部活動対抗リレーでは、それぞれの部活動が一堂に会し走るといふ一点で見応えを感じました。その中でもやはり陸上競技部の走りは圧巻でした。

また、前回の体育祭では初めて男女一緒にダンスを実施し好評でしたが、今回は今の世相を反映してトリコダンスを全生徒で披露してくれました。生徒一人ひとりの躍動感と笑顔がまぶしいダンスとなりました。

3月15日、本校舎の2年生による探究発表会が体育館で行われました。感染対策も緩和されたことで、1・2年生全員が体育館で発表を視聴することができました。

事前に選出されたクラス代表の8グループが、ステージ中央のプロジェクトに映し出されたポスターを使って、足利市や栃木市、鹿沼市などそれぞれの地域の魅力をアピールしました。

発表会終了後のアンケートからは、ポスターのキャッチコピーや

総合優勝は総合進学コース3年3組でした。担任の菊池先生は驚いた様子でクラス一人ひとりと喜びをかみしめていました。

1学年・白鷗大学見学

3月14日、本校舎の1年生を対象に白鷗大学見学会が実施されました。当日は本キャンパスと大行寺キャンパスの両キャンパスで文理進学コースと総合進学コースの生徒が、模擬授業を聴講しました。また、聴講後には白鷗大学の学生リーダーがキャンパス内を案内してくれました。

模擬授業では法律、経営、英語、保育、小学校、心理、スポーツの各先生方が大学の授業の内容を



発表の様子

発表内容の吟味、伝えることの難しさなど、発表者、視聴者ともに、新たな課題を見出したことをうかがい知ることもできました。

ワークショップ形式などで、高校生にもわかりやすく講義してくれました。



模擬授業の様子

キャンパスツアーでは法廷を模した教室や膨大な蔵書を誇る図書館、安くて美味しい学生食堂、人工芝のサッカー場、一般学生も利用できるバスケットボールコートなどを見学し、生徒たちは白鷗大学の充実したキャンパスに大変興味を持ったようです。今回の見学が生徒たちの進路研究に生かされることを期待します。



ワークショップの様子

修学旅行

3学年修学旅行

本校舎3年生は総合進学コース11月28日～12月1日、文理進学コース11月29日～12月2日の日程で、修学旅行を実施しました。

本来ならば2年生で行くはずだった修学旅行ですが、コロナ禍のために、昨年度は中止となりました。

しかし、一度しかない高校生活。修学旅行実施の可能性を模索し、進路決定や部活動、その他の行事等との調整を経て、なんとか3年生で念願の実施となりました。

3泊4日、沖縄での修学旅行で、沖縄の文化に触れたり平和学習を通して平和について考えたりと、日常ではなかなか得られない学びを経験することができました。そして、生徒たちが楽しく過ご



3学年 修学旅行

し、高校生活の良い思い出になったことが、何よりも嬉しく感じました。

2学年・体験的に学んだ4日間

本校舎の2年生は、コロナ感染拡大による延期や中止を考慮し、



2学年 ジェットスキー体験をする生徒たち

1学年社会見学 SDGs探究活動

12月9日、本校舎1年生はSDGsの探究活動の一環としてJICA横浜を訪問しました。JICAとは開発途上国を支援する世界最大規模の国際協力機関で、世界のさまざまな地域の開発途上国の支援を行っています。

今回はSDGs達成に向けたJICAの取り組みについて興味深い話を聞くことができました。講演の後には、日本人の海外移住の歴史および移住者と日系人の現在をテーマにした海外移住資料館

例年より3か月早い11月28日～12月1日の3泊4日の行程で、沖縄への修学旅行を実施しました。

事前学習で気候や歴史などについて学んで臨んだ旅行でしたが、地元との気温差に驚き、コザの町歩きや、車窓から見た辺野古の埋め立地向かうトラックの列、反対住民の様子に、基地問題の難しさなど、体験的に学ぶことができました。また、ジェットスキー・シュノーケリングやカヌーなどの体験学習では、沖縄の海や自然を満喫する生徒たちの笑顔も見られました。

コロナ対策による制限はありましたが、生徒たちにとって有意義な4日間になりました。

を見学しました。

JICA滞在の前後にはカップヌードルミュージアムでカップ



1学年 社会見学

ヌードル作りを体験したり、クインズスクエアなどで買い物を楽しんだり充実した1日を過ごしました。

富田キャンパストピックス

人権作文で最優秀賞

栃木県教育委員会主催の「人権に関する作文コンクール」において、特1の1大塚優里子さん（白鷗足利中）が「子供の笑顔と命を守るために」という題名で、同じく特1の1戸田七碧さん（太田城東中）が「味方のいる社会」という題名で、それぞれ最優秀賞に輝きました。また、特1の1小林音璃さん（白鷗足利中）と進1の3鈴木柑那さん（山辺中）も優秀賞を受賞しました。



最優秀賞を受賞した戸田さん(左)と大塚さん

12月9日に栃木県公館で行われた表彰式では大塚さんが代表として作品の朗読を行いました。

青少年作文で入賞

足利市「青少年作文」高等学校の部において、進1の1ディアス・フアナさん（大泉西中）が優

秀賞、特1の1千田愛華さん（白鷗足利中）が佳作を受賞し、2月25日に行われた表彰式に参加しました。



ディアスさん(左)と千田さん

ディアスさんは、何事にも堂々と挑戦するお父さんの姿から、自分も勉強や学校生活に積極的に取り組むようになったことを中心に文章にまとめ、将来は、外国人と日本人の懸け橋になるような仕事が見たいと夢を語りました。

千田さんは家族のことを気遣って毎朝お弁当を作ってくるお母さんの姿を中心に、家族と過ごす日常を綴り、その日常生活からの気づきを将来につなげていく心情を表現し、評価されました。

「青少年作文」は学校生活や友人との関わり、進路のことなど、高校生である自分を見つめる良い機会です。来年度もたくさん生徒が応募してくれることを期待しています。

沖縄修学旅行 2年ぶりに実施

11月6～9日にかけて、富田校舎2年生の沖縄修学旅行が実施されました。コロナ禍以降、3年ぶりの修学旅行実施に、生徒たちも心を躍らせていました。

修学旅行の前半は、平和学習を行いました。予め学校で沖縄戦について学び、沖縄平和祈念公園、ひめゆりの塔を巡りました。生徒たちが強く関心を示していたのは生存者の手記や手紙でした。銃弾から逃げる途中で一家が離散した悲しみや苦しみ、生き残ったことに対する罪悪感や後悔など、体験者の言葉でつづられた文章を読んでも、涙ぐむ生徒もいました。現代でもなくならない戦争に胸を痛める生徒もいました。ここで感じた痛みを忘れず、生徒一人ひとりが平和を尊重する人物に成長してくれることを願っています。



ひめゆりの塔にて

後半では沖縄観光を満喫しました。おきなわワールドやアメリカ

ンビレッジなどでは、沖縄ならではの伝統や文化を班別行動で楽しみました。美ら海水族館では、チンアナゴやジンベイザメなど、そ



マリン体験

れぞれが楽しみにしていた海洋生物を、目を輝かせながら見学していました。マリン体験や郷土体験など、現地でしか味わえない貴重な経験は、生徒たちの感受性を豊かにしてくれるものとなりました。

合唱祭

進学1組が最優秀賞

12月8日、富田校舎1年生による第28回合唱祭が行われ、シーガルホールに歌声が響きました。

新型コロナウイルス感染者の急増により予定を大きく変更しての開催となりましたが、生徒たちは開催できたことへの感謝と喜びを歌に込め、精一杯歌いきりました。課題曲「Replay」とクラ



進学コース1年1組の合唱の様子

ラスの個性を出して歌い、会場は大変盛り上がりました。結果は次の通りです。

最優秀賞 進学コース1年1組
優秀賞 進学コース1年4組

レクチャーコンサート

田中あかね先生をお迎えして

12月8日、文化庁芸術家の派遣事業の一環として、ピアニストの田中あかね先生を講師にお招きし、レクチャーコンサートが開催されました。



レクチャーコンサートの様子

「モーツァルトって、どんな人？」というタイトルのレクチャーコンサートは、田中先生のピアノ演奏と丁寧な語り口でモーツァルトという人物や歴史的な背景を

紐解く内容でした。

普段クラシックに馴染みのない生徒たちにも分かりやすく、楽しい時間となり、貴重な体験をすることができました。

基礎探究講座発表会

3月2・4日の2日間にわたって、富田校舎2年生の基礎探究講座発表会が行われました。探究学習は、生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理、分析をしてまとめるといった能力の育成が目的です。

各グループが日常生活の中で疑

問に思ったことを、数学の授業で学んだ相関係数を用いて分析し、考察を加えて発表するもので、グループごとに工夫をし練習を重ねて発表に臨みました。



発表の様子

今回の経験を生かし、常に自ら主体的に学ぶ姿勢を持って、学校生活を送ってくれることを期待します。

ブリティッシュヒルズ語学研修実施

3月17～19日、富田校舎1年生希望者によるブリティッシュヒルズ語学研修が行われました。レッスンはもちろん、日常生活でのスタンプとの会話も英語で行われるため、緊張した雰囲気でしたが、生徒たちも積極的に授業やアクティビティに参加し、イギリスの雰囲気十分に堪能していました。スコーン作りやスピーチコンテ



研修に参加した生徒たち

ストにも挑戦し、自身の英語力の向上に意欲的になったほか、異文化に対する関心も高まりました。また、18日は一日中雪が降り、日本とは思えない幻想的な風景を楽しめる研修となりました。

白鷗大学だより

フルス ウルトラ
PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

学生&企業研究発表会で青崎ゼミが金賞受賞 地域の活性化をテーマに研究に取り組む

大学コンソーシアムとちぎ主催「第19回学生&企業研究発表会」に経営学部の青崎智行ゼミナールが出席し、有岡呼人さんらグループが金賞に輝き、井田竜輔さんらのグループも栃木県経営者協会賞を受賞しました。

最優秀賞の有岡さんらは「道の駅に新たな風を吹かせよう！〜創造と発信がもたらす地域振興の可能性〜」をテーマに、栃木県内各地でも賑わいを見せている道の駅の若年層の顧客獲得のために、道の駅を擬人化することで若年層の認知度や興味・関心を高めようとする研究に取り組みました。また

栃木県経営者協会賞の井田さんは「TOCHIGIの地酒海外販路開拓〜クールジャパンが築く海外への架け橋〜」をテーマに、栃木の地酒に日本文化を掛け合わせることで他との差別化を図り、海



青崎ゼミの(左から)伊澤浩さん、武藤万里菜さん、有岡呼人さん、巖あかねさん、伊藤佑月さん

外販路開拓につなげる研究を行いました。

担当教員の青崎教授は「グループワークにはさまざまな困難が伴いますが、いずれのチームもディスカッションやフィードバック、プレゼン演習などに、メンバーが一丸となって妥協なきチャレンジを続けた結果が今回の受賞につながった。この経験は学生生活のみならず社会人になっても必ず糧になる」と期待を寄せました。

学生主導の新たな取り組み 経営学部メディア実践ゼミが 小山市サイトで連載

30年後の「田園環境都市ビジョン」を策定中の小山市が新設した、Webマガジン「おやまアサツテ広場」で経営学部メディア実践ゼミ(下村健一教授)が連載コーナーを担当することになりました。

「未来発！おやまノート」と題して、市内の様々な人を訪ねて現在の活動取材し、それをもとにして「2050年の時点に立ちきって記事を書く」という近未来想像企画です。

主幹である小山市総合政策部からWeb運営を委託された事業者が、同ゼミによる別の連載記事、下野新聞「学生記者が行く」栃木



下村教授(左)とゼミ生による編集会議

いいね散歩」に注目。記者として署名のあった経営学部4年岩崎朱里さんらに執筆を直接打診。ゼミ内での議論を経て、受諾を決めました。

軟式野球部が夏・秋全国二冠を達成

8月に行われた「第2回全日本大学軟式野球選抜大会」において軟式野球部が優勝し、栄えある初代王者となった昨年に続き、大会連覇を達成しました。

また、11月の「第45回全日本大学軟式野球選手権大会」でも優勝し、夏・秋全国二冠を初めて達成しました。同選手権大会の優勝は、2015年度の第38回大会以来、7年ぶり2回目です。同部を率いる金田健史監督は「昨年からの夏の全日本選抜大会、秋の全日本選手権大会という二大会制になったことで大学軟式野球に関わる学生たちにとって二大会制覇は大きな目標になりました。第45回全日本大



全国二冠を達成した選手たち

学軟式野球選手権大会では、夏の優勝校ということで対戦校からかなりマークされましたが、接戦でも自信を持って戦うことができたと感じています。選手、マネージャーたちが誇りに思いますし、これまでチームを作り上げてきた卒業生にも感謝したいです」と讚えました。

白鷗大学が既に結んでいる小山市や栃木県との地域連携協定に加えた、新たなボトムアップの連携の形が誕生しました。岩崎さんは「初回の記事では、2050年から現在までの28年間を振り返って書くことに苦労しましたが、自由な発想でアイデアを出し合っていくうちに、自分たちが思い描く未来を書くことができました。これからも小山市の未来像を読者と一緒に想像できる記事を作っていきたい」と語りました。

PTAだより

PTAの発展に向けて PTA会長 石井 薫



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、ご卒業されるPTA会員の皆様におかれましては、感慨深い思いでこの時を迎えられたことと思います。

ここ数年のPTA活動は新型コロナの影響により、それ以前とは大きく異なるものとなりました。

PTA活動は、基本的には前年

生徒会役員誕生

11月1日の認証式をもって、生徒会が発足しました。生徒会は本校舎13名、富田校舎8名の計21名です。昨年からの経験者は6名です。今回の生徒会メンバーは学校をよりよくしようと、早速生徒向けに学校生活に関するアンケートを実施するなど、積極的に活動しています。学校行



本校舎生徒会役員

- 会長 長総2の2 高橋 暖空 (佐野北中)
- 副会長 長総2の1 畑中 空 (山辺中)
- 文1の1 岡村 泰知 (協和中)
- 議長 長文2の3 岡部 愛 (佐野北中)
- 副議長 長文1の3 飯島健太郎 (多々良中)
- 書記 文1の1 川上 優斗 (岡々田中)
- 総1の5 長谷川夕達 (佐野北中)
- 会 計 文2の1 久保田媛史 (相生中)
- 文1の1 松井 匠 (赤見中)
- 文1の2 落合 千尋 (乙女中)
- 文1の3 妹尾 栞里 (大平中)
- 文1の2 川田 麻耶 (佐野西中)
- 文1の3 上野 桜菜 (小山中)
- 会計監査 文1の2 川田 麻耶 (佐野西中)
- 文1の3 上野 桜菜 (小山中)

事では、新型コロナウィルス感染拡大の影響で今まで通りで

も、皆様のご協力のおかげです。

学校長、生徒会長の挨拶の後、

硬式野球部2人組の力強い歌声か

つたものもありますが、「PLU S U L T R A」の精神で新しい



富田校舎生徒会役員

- 副会長 特2の1 菊地 愛生 (白鷺足利中)
- 議長 長特1の1 小林 音璃 (白鷺足利中)
- 副議長 長進2の6 金井 さら (白鷺足利中)
- 会 計 進2の6 齋藤 匠 (愛宕台中)
- 書記 特2の1 山野内希和 (足利西中)
- 会計監査 特1の1 荒井 茜音 (隼林四中)
- 特1の1 本島 愛望 (隼林四中)
- 進1の4 飯塚 巴菜 (多々良中)

ことにチャレンジし、学校の新時代に

あつという間の2時間でしたが、

度を引き継いで活動してまいりましたが、コロナ禍のため様々な活動が中止もしくは縮小となり、引き続きもままならない状況の中、今年度を終わろうとしています。

しかし、大きな活動はできませんでしたが、各支部の支部長さんをはじめとする役員の皆様や会員の皆様の、縦の繋がり横の繋がりとといった一つひとつの繋がりが、白鷺PTAを支え、引き継がれていることも事実であります。

予餞会



予餞会が開かれました。3年生は体育館で鑑賞し、1・2年生は教室にてテレビ視聴で行われました。

1月26日、新体育館にて3年ぶりの予餞会が開かれました。3年生は体育館で鑑賞し、1・2年生は教室にてテレビ視聴で行われました。

少しずつ明るい兆しを感じる今日この頃。PTA活動も少しずつ復活することを願っております。

また、これまでの伝統ある白鷺PTAを継承し、さらに発展した新しい白鷺PTAとなれるよう、会員の皆様には今後ともPTA活動にご理解いただき、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

ダンスパフォーマンス



3年生には良い思い出となりました。

編集後記

3月にWBC(ワールドベースボールクラシック)が行われ、日本は3大会ぶり3回目の優勝を成し遂げました。大会MVPを獲得した大谷翔平選手は前例のない投打での活躍で世界を驚かせていますが、謙虚さ・思いやりの心・計画性など「人間性」の高さにおいても、たびたび着目されています。大谷選手は高校生の時にマンガラチャートを作成しました。そこには目標達成のために必要な事柄が記入されていますが、技術的なことだけでなく「人間性」や「運」についても記入し実行していることは有名な話です。大谷選手のような異次元の活躍はできないにしても、謙虚な姿勢や思いやりといった人間性や、計画性や主体性といった物事への取り組みについては皆さんが参考にできることもあるはずだと思います。私達も目標達成に向けて「人間性」を養っていく姿勢を大切にしていきたいものです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷺大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-41-0890
制作・(有)コーエイプロセス
発行日・令和5年3月31日